

伊良波小学校 第 1 回コミュニティ・スクール協議会 報告書

- 1 開催日時 令和 6 年 6 月 9 日 (日) 9 : 2 5 ~ 1 1 : 3 0
- 2 場 所 2 校時 : 授業参観 (各教室)
3 校時 : 協議会 (図書館)
- 3 参加者 真玉橋 信克、山崎 新、宜保 安孝、當銘 章一、平田 清美、浅川 晃子
牛木 克彦、上原 ひかる、田仲 育恵、長尾 順子、大浜 辰也
玉城 道吉
- 4 会議内容
 - (1) 今回の会議の主なテーマ
どのような学校づくりを目指すのか
テーマ : 学校・保護者・地域と連携した子どもの居場所づくり
- 子ども・教職員・保護者・地域の幸せを求めて -
 - (2) 話し合いの内容
 - ① 始めのことば 司 会
 - ② 自己紹介
 - ③ 学校長あいさつ 校長
 - ④ 委嘱状授与 校長
 - ⑤ CS についての説明 教頭
 - ⑥ 本年度の学校経営について . . . 校長
 - ⑦ 本年度の行事予定について . . . 教頭
 - ⑧ 意見交換
 - ⑨ 終わりのことば 司会
 - (3) 決定事項、役割分担、今後の方向性 (学校運営への反映に向けて) 等
令和 6 年度伊良波小学校 CS テーマ
学校・保護者・地域と連携した子どもの居場所づくり
- 子ども・教職員・保護者・地域の幸せを求めて -
設定理由 : すべての児童及び保護者が「行きたい (行かせたい) 学校」「安心・安全な地域・学校」をめざし、学校・保護者・地域とのつながりを大切にした学校運営を推進する。
 - ①伊良波伝統行事(綱引き)の復活
・縄作りから子どもに体験させたい(→高齢のため伝承が厳しい状況)
 - ②社会福祉協議会との連携 (伊良波小学校区の地域の皆さんとのつながる学校
応援プロジェクト
→第 1 回学校応援プロジェクト
(空き教室を活用したミニデイと子どもたちとの交流)

③不登校児童及び渋り児童への対応

- ・足が向く工夫（空き教室を利用した居場所作り）
- ・子どもたちとともに作り上げていく題材が必要である
- ・地域・保護者(大人)の為の活動も必要である。
- ・繋がりを目的に大人が安心できるスペースとして空き教室を利用する
（お茶会、ユンタク会、料理教室など）

④環境整備(草刈り、整備事業)

- ・PTA 作業以外にも地域の方がいつでも作業道具を借用できるシステムの構築

(4) その他の事項

伊良波小学校 CS 要望(教育委員会へ提出)

- ・地域交流室の設置（急務）CS を推奨しているが地域がいつでも利用できる交流室を設置してほしい。（現在学校職員が残り学校の図書館を利用している状況。これでは教職員の負担も増え長くは続かない。保護者・地域のみで利用できる交流教室を設置要望。
- ・代替案・2 回多目的教室出入口外施錠の設置、多目的教室を機械警備対象外に設定

5 次回予定 令和6年6月25日（火） 13：30～16：00